2022（令和 4）年度 事業状況報告

2020 年度からの 3 ヵ年中期経営計画に基づき、最終年度の今年度は以下のように事業に取り組んだ。

1　自然環境保全活動等事業（公 1 事業）

予算　収入 27,870 千円、支出 30,370 千円
決算　収入 29,963 千円、支出 28,661 千円

自然環境保全事業は、「和泉葛城山ブナ林」、「三草山ゼフィルスの森」、「地黄湿地」の三大保全地の保全事業、大阪府内の自然環境保全団体の活動や企業の CSR 活動への支援などを引き続き行った。また、サービスの質向上と業務量の適正化を図るため、その他の既存事業については、社会のニーズや協会の経営環境等を勘案しつつ、その内容・サービスの水準・進め方等の見直しを進めた。

三大保全地については、学識経験者や行政等で構成される委員会で、保全の方向性や内容を決定しそれに基づいて活動を行った。活動の実施にあたっては事業の内容によって、専門家に依頼する内容と、ボランティア活動で行う内容を整理し、年間を通じて計画的に実施した。活動の結果・成果を確認し、次年度以降の計画策定の参考とするため、モニタリングや調査を適宜行った。

また、今年度も企業数社の相談に対応し、協会の取組の紹介や現地視察の同行などを行った。問い合わせがあった企業には次年度以降も継続して対応していく。

（1）和泉葛城山ブナ林保全事業（岸和田市・貝塚市）

和泉葛城山ブナ林では、大径木の枯死が進み、稚樹が極端に少ないうえに近年の種子生産状況も思わしくないなど、長期的に見た場合ブナ林としての存続が危ぶまれる状況にある。一方で、バッファゾーン（国天然記念物区域外の周辺緩衝樹林帯）に植栽したブナが順調に育っている。

2022 年度は、2020 年度に策定した「和泉葛城山ブナ林 10 ヵ年計画」（和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会）に基づき、コアゾーン（国天然記念物区域）、バッファゾーンで各種調査や森林保全活動を実施するとともに、倒木年輪調査、ナラ枯れへの対応、看板調査などを行った。また、予定していたハイキングは悪天候のため中止とし、次年度に実施することとした。

1）計画検討・調査等

①コアゾーンにおける調査（ブナ愛樹クラブ、大阪府立環境農林水産総合研究所等）

・天然下種更新モニタリング（4 月 27 日、5 月 30 日、6 月 30 日、その他、他の調査に合わせて実施））

・花芽・結実調査（4 月 13 日、4 月 27 日、11 月 2 日、11 月 21 日、11 月 28 日）
・種子調査（種子トラップ設置：4 月 13 日（今年度から常設）、落下物回収は、5 月 30 日、8 月 30 日、11 月 29 日、2 月 27 日の 4 回）
・倒木年輪調査（標本採取：6 月 21 日）

②コアゾーン及びバッファゾーンで実施した調査・保全管理（大阪府立環境農林水産総合研究所等）

・生育環境調査（データ回収：5 月 30 日、8 月 30 日、12 月 22 日、2 月 27 日）
・哺乳類モニタリング（データ回収：5 月 30 日、8 月 30 日、12 月 22 日、2 月 27 日）
・ナラ枯れ対応
【枯死木】成虫脱出防止シート巻き（5 月 23 日・25 日～11 月 4 日・16 日）、効果確認調査（5 月、8 月、10 月）
【生木】ナラ枯れ防止薬剤注入（施工木選定調査：4 月 28 日、施工：6 月 22 日・23 日、効果確認調査：11 月 16 日）

③バッファゾーン等における調査及び保護・増殖活動（ブナ愛樹クラブ等）

・育苗・移植（ワーキンググループ現地調査：7 月 12 日、塔原苗畑の 6 本の幼木を山頂付近に移植：3 月 21 日、バッファゾーンにおける移植準備根回し：3 月 15 日、大阪公立大学付属植物園の幼木観察：10 月 22 日）
・ブナ愛樹クラブ主催により「国指定天然記念物 100 周年記念植樹会」開催。（3 月 21 日）
・植栽ブナ、天然ブナ全数調査に向けた準備（12 月 1 日・2 日・6 日・7 日）
・ドローン活用調査

④保護増殖検討委員会とワーキンググループ会議

・保護増殖検討委員会（4 月 21 日（貝塚市））
・ワーキンググループ会議（9 月 8 日、3 月 9 日（オンライン））

ナラ枯れ対応止シート巻き　5/25

ワーキンググループ現地視察　7/12

２）保全活動等（保全活動参加目標人数　380 人　実績 533 人）

①ブナ苗畑の管理（地元へ委託）

回数・参加者数　：45 回　45 人参加

②森林保全ボランティア活動の支援

支　　援　　先　：和泉葛城山ブナ愛樹クラブ

回数・参加者数　：41 回　452 人参加

内　　容　：下草刈り、倒木処理、作業道の回復、普及イベント等

③巡回活動（地元へ委託）

回数・参加者数　：36 回　36 人参加

作業道の回復　8/7

植樹会　3/21

３）ＰＲ活動等

①ハイキングの開催

紅葉黄葉の時期にハイキングを設定し、下見を実施したが、当日は雨天のため中止となった。（下見：11 月 18 日（金）、本番：11 月 23 日：雨天のため中止）

②広報等

・「広報きしわだ」（7 月 1 日発行）の表紙にブナ林風景とブナ愛樹クラブの写真が掲載され、天然記念物 100 周年を迎えることなどが紹介された。

・「かいづか文化財だよりテンプス 79 号」（3 月 1 日発行）に、和泉葛城山と保護増殖検討委員会の活動に関する記事が掲載された。

・大阪みどりのトラスト協会のメールマガジン「みどりのトラストニュース（毎月配信）において「和泉葛城山ブナ林　活動地だより」を掲載した。

（２）三草山ゼフィルスの森（能勢町）

大阪府の緑地環境保全地域に指定されている三草山ゼフィルスの森（14.5ha）には、日本に生息するミドリシジミチョウ類（学名ゼフィルス「森の宝石」とも言われる）25 種の内 10 種が生息し、中でもヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限域にあり、府内では唯一の生息地となっている。

2022 年度は、地元の保全活動団体や企業・学校・大学など様々な者が主体的・計画的に保全活動を進められるよう、「三草山ゼフィルスの森保全検討会議」（以下「検討会議」とする）を開催し、保全活動の支援、進捗管理、府民に向けた PR 活動を行った。

１）計画検討・調査等

①三草山ゼフィルスの森保全検討会議の実施

・検討会議　2 回開催（5 月 9 日、12 月 21 日）

②森林の更新に伴うゼフィルス類への影響調査（大阪公立大学、日本鱗翅学会等）

以下の調査を実施した。

・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査（6 月 11 日）

③森林環境の変化による植生や昆虫類への影響調査（大阪公立大学）

以下の調査を実施した。

・防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査（8 月 1 日・16 日）

・水平張りネットのシカ侵入防止効果に関する調査（9 月 28 日撮影開始）

検討会議　5/9

ゼフィルス調査　5/11

④保全管理（大阪府森林組合等）

以下の保全管理を実施した。

・上杉進入路の補修（3 月 24 日完了）

・山腹崩壊地上部復旧（大阪府発注により実施。）

２）保全活動等（保全活動参加目標人数　340 人　実績　386 人）

①ボランティア保全活動への支援

支　　援　　先　：能勢みどりすとクラブ、能勢の里山を繋ぐ会
回数・参加者数　：43 回　362 人参加
内　　容　：坪刈り、ササ等下草刈り、進入路石畳づくり、ナラガシワの果実の採取、苗木の育成、鹿柵の補修等

②更新作業の継続

防鹿柵のメンテナンスや萌芽した枝の芽かきなど、過去の更新地の手入れを行った。また、約 0.3ha の萌芽更新施業を行い、伐採木を能勢町が実施した木の駅プロジェクトへ出材するとともにシイタケの榾木に活用した。

③巡回活動（地元へ委託）

回数・参加者数　：12 回　24 人参加

石畳づくり　8/3

木の駅プロジェクトへ出材　2/5

３）ＰＲ活動等

①普及啓発のための観察会・保全活動体験会・ハイキングの開催

観察会は3年振りに一般参加を募って実施し、その模様を録画・編集し、ＳＮＳで動画配信を行った。(6月19日)

秋に予定していたハイキングは、悪天候のため春に延期し実施した。(3月21日)

②他団体が三草山ゼフィルスの森を活用して行うイベントのサポート（企業等によるＣＳＲ活動、メディア取材、ハイキングへの講師派遣など）

・エネクスフリート株式会社

社会貢献活動「子どもたちに笑顔を」協力（10月16日、3月12日）

看板製作・設置手続・設置協力（6月～1月）

・大東建託株式会社

「いきもの観察および保全体験ツアーIn大阪・能勢」下見（3月8日）

③地元との連携（保全活動拡大に向けた関係者（周辺住民、地元学校や企業等）への働きかけ）

有識者や地元の方々を交え、三草山ゼフィルスの森の生物多様性についての勉強会を行う予定であったが、参加者の日程調整がうまくいかず、実施することができなかった。

ゼフィルス観察会　6/19

エネクスフリート「子どもたちに笑顔を」
3/12

（３）地黄湿地（能勢町）

地黄湿地は、2015 年度から 2017 年度に行った保全再生事業により、陸地化が進んでいた部分に水が行きわたるとともに、日照等が多くなり、環境が改善された。サギソウやハッチョウトンボをはじめとする湿地の希少な動植物の生息環境を保全するため、湿地の陸地化が再び進まないよう取り組んだ。

地黄湿地では 2022 年度も前年度に引き続きハッチョウトンボが確認され、トキソウやサギソウといった湿地特有の植物の良好な生育が確認されるなど、過年度からの保全活動の効果がみられた。

１）計画検討・調査等

①地黄湿地再生保全検討会議の実施

・検討会議　1 回実施（5 月 12 日）

②春季植生調査（大阪公立大学等）

1 回実施（5 月 12 日）

③希少植物の開花数調査（地黄の森 FAN クラブ）

サギソウ分布調査 1 回実施（7 月 23 日）

④水生動物調査（大阪公立大学）

5 回実施（5 月 15 日、6 月 19 日、7 月 24 日、8 月 31 日、9 月 15 日）

⑤湿地のモニタリング、管理へのフィードバック

②～④の調査モニタリング結果を踏まえて、湿地部の維持・拡大のための保全活動を実施した。

検討会議　5/12

春季植生調査　5/12

２）保全活動等（保全活動参加目標人数　100 人　実績　218 人）

①ボランティア保全活動への支援

支　　援　　先　：地黄の森ＦＡＮクラブ
回数・参加者数　：17 回　168 人参加
内　　容　：湿地の環境改善、湿地内・沿岸林縁部の下草刈り、植物調査、湿地内の灌木・高茎草本刈り取り、ウシガエルなど外来種捕獲等

②最下流部の水環境改善（一部委託）

大阪府森林組合への委託により実施した。

③シルト質の補給改善（後背森林の整備）（一部委託）

日本森林ボランティア協会への委託により実施した。

④巡回活動（地元へ委託）

回数・参加者数　：25 回　50 人参加

湿地内下草刈り　2/25

後背森林の整備　12/24

３）ＰＲ活動等

①普及啓発のための観察会・保全活動体験会の開催

3 回実施

・トキソウ観察会（ 6 月 11 日）

・サギソウ観察会（ 7 月 31 日）

・秋の植物観察会（10 月 20 日）

②企業等によるＣＳＲ活動の受け入れ支援

東洋カーマックス株式会社の社員 4 名が CSR 活動の一環として、保全活動に参加した。(2 月 25 日)

③地元高校との連携による環境学習と保全活動への協力

大阪府立豊中高等学校能勢分校の 2 年生向けに 6 回と、1 年生向けに 1 回の現地授業を行った。

④地元との連携・地黄湿地に関する勉強会の開催（地元・ボランティア対象）

地元やボランティアを対象として、専門家の講義や近隣のほかの湿原の視察を通じて、湿地の価値を知り保全のあり方について考える勉強会を実施した。(9 月 25 日)

秋の植物観察会　10/20

勉強会（丸山湿原視察）9/25

（４）自然環境保全地域支援事業(社寺林)

大阪府自然環境保全地域に指定されている 5 ヵ所の社寺林については、いずれも当該地の極相林に近い天然林として、土地所有者（社寺）と保全契約を結び、保全活動に対し助成を続けてきた。2022 年度も当該箇所における保全活動に対して助成及び支援情報の提供を行った。

自然環境保全地域	所在・面積	保全対象	課　題
本山(ﾎﾝｻﾞﾝ)寺	高槻市 14ha	モミ・ツガの天然性針葉樹林	鹿の食害、ナラ枯れ
意賀美(ｵｶﾞﾐ)神社	岸和田市 1ha	コジイ、ナナメノキ、アラカシを構成種とするシイ林	古木の立ち枯れ
美具久留御魂 (ﾐｸﾞｸﾙﾐﾀﾏ)神社	富田林市 2ha	コジイ林を優占種とする極相に近い広葉樹林	竹林の進入
若山(ﾜｶﾔﾏ)神社	島本町 11ha	コジイを優占種とするシイ林	竹林の進入、ナラ枯れ
妙見山(ﾐｮｳｹﾝｻﾝ)	能勢町 10ha	アカマツ、アカガシが混在するブナ林	シカの食害
計	5 地域 38ha		

（５）歌垣銀寄栗の森保全事業

歌垣銀寄栗の森保全事業は、公益社団法人大阪自然環境保全協会と協働で、2018 年度よりスタートさせた活動である。当該地での保全活動は地元に拠点を構える大阪自然環境保全協会の保全グループ「歌垣 SATOYAMA 楽舎」が中心になって進めており、当協会は当該グループが実施した「歌垣銀寄栗の里山アカデミー」や保全活動への協力・支援を行った。

（６）府内自然環境保全活動支援事業

これまで当協会が立上げに関わってきた活動地に加え、大阪府内で希少な野生生物の生息地の保全や、里山保全を行っている団体の活動を支援し、府内に残された自然環境の保全を行った。

①自然環境保全団体ネットワーク事業

2020 年度に立ち上げた大阪府内で活動中の里山保全団体の情報を集約するサイト「大阪里山ネットワーク」で各団体の広報・ＰＲを行った。また、少額助成制度を実施し、2 団体に対して合計 85,000 円の助成を行った。

また、これまで活動地や専門分野の申請を受付けて登録したボランティアに対して使用してきた「みどりすと」の呼称は、当協会や大阪里山ネットワーク加盟団体が実施する保全活動及びイベントなどに参加する方や、当協会の活動を支援して下さる方

に対する総称として使用することとした。

（７）企業ＣＳＲ等支援事業

自然環境保全に企業の協力を得るため、大阪府や実際に活動を指導する環境保全団体と連携し、大阪府のアドプトフォレスト制度を活用するなどして、積極的に企業ＣＳＲ活動に携わった。

①既存活動支援

・NTT ドコモ（堀河の森）：2 回実施（9 月 17 日、12 月 3 日）
・立花エレテック（枚方市東部清掃工場）：１回実施（新入社員研修 4 月 8 日）
・タカミヤ（枚方市東部清掃工場）：新型コロナウィルス感染症拡大防止のため実施なし

②新規活動の立上げ支援

企業の森づくりや CSR 活動に関心のある複数の企業より、当協会の取り組みや提供可能なサポートへの問合せがあった。それらの相談に対して説明や活動候補地への同行案内などを行った。活動開始には至っていないが、次年度以降も引き続き対応し、企業が自然環境保全活動に参加するように取り組む。

（８）その他

１）御堂筋アメニティ事業

御堂筋の緑地帯（淀屋橋～難波：約 2.7 ㎞）にあるフラワーベース 48 基に、花卉類を植え付けて花と緑による装飾を施し、都市の緑化の推進とアメニティの向上に寄与した。大阪市が実施する御堂筋将来ビジョンに基づく御堂筋側道の歩行者空間化等に協力し、フラワーベース 11 基の移設を行った。

また、当事業は今年度末をもって御堂筋エリアにおいて様々なまちづくり事業を展開している一般社団法人テラプロジェクトに承継した。

２）大阪さともり地域協議会の運営

大阪さともり地域協議会は、2013(平成 25)年度からスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の実施にあたって、大阪府域を対象として設置された地域協議会であり、当協会はその事務局として、活動組織への交付金の交付、活動に対する支援や指導等を行っている。2022 年度も、事務局として適正で円滑な事業の推進に努めるとともに、活動組織の持続可能な活動推進に資する取り組みを行った。

・交付金申請採択団体
　活動組織 30 組織
　交付金 38,449 千円

・大阪さともり地域協議会
　総会（4 月 22 日、Web 開催）

審査会 3 回(4 月 22 日 Web 開催、10 月 14 日・1 月 13 日書面開催)

・持続可能な活動推進に向けた取り組み
　・活動組織へのアドバイザー派遣（4 活動組織、5 回）
　・チェーンソー安全講習会の開催（6 月 16 日・24 日、合計 50 名参加）
　・森林関係イベントでの広報活動（10 月～11 月、3 回）
　・市町村を対象とした企業の森として活用可能な里山林に関するアンケート調査（12 月実施）
　・活動地視察ツアー（12 月 1 日、17 名参加）
　・里山保全セミナーの開催（12 月 15 日、約 50 名参加）
　・救急法応急手当安全講習会の開催（1 月 15 日、17 名参加）

３）能勢町との連携強化に向けた検討（新規）

能勢町には三草山ゼフィルスの森及び地黄湿地の 2 つの大阪府の緑地環境保全地域に指定された保全活動地のほか、多くの自然環境豊かな里地里山が残されている。能勢町が「能勢の里山活力創造戦略」（平成 30 年度策定）を推進するにあたり、協会としてどのような連携のあり方があるか能勢町と一緒に検討を進め、今年度は以下の業務を実施した。

・里山デイキャンプ（能勢の里山活力創造推進協議会主催）での講義
（8 月 10 日）
・森林環境学習標識の制作・設置委託業務の受託（10 月～3 月）

２　緑の募金事業（公２事業）

予算　収入 17,000 千円、支出 18,330 千円

決算　収入 16,809 千円、支出 17,185 千円

2022 年度の収入は前年度に続き、新型コロナウィルス感染症拡大防止の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金など募金活動の縮小を余儀なくされたが、前年度と比べると 110％と回復傾向を示し、コロナ前の 2019 年度の 82％となった。

募金の活用に関しては、SDGｓ達成への貢献を目指し、緑の未来を担う子どもたちへの助成や森林環境教育・森林ＥＳＤの推進等に関する事業に重点的に配分をし、以下の事業を執行した。

（収入および支出の詳細は巻末参考資料参照）

２－１　緑の募金運動推進事業

（１）募金資材の整備

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2022 年秋用および 2023 年春用の募金資材を整備した。（緑の羽根、緑化バッジ、ＰＲチラシ、ポスター、募金箱）

緑化バッジは、過去 2 年間はコロナ禍で製作数を削減した。引き続き過去のバッジを有効活用することを前提にしつつ、街頭募金等の再開を見込んで、昨年度よりやや数を増やして製作した。

2022 秋バッジ
（キキョウ）

2023 春バッジ
（スイセン）

（製作数）

2019 秋	2020 秋	2021 秋	2022 秋
カツラ	―	カキ	キキョウ
5,000	0	3,170	4,000

2020 春	2021 春	2022 春	2023 春
ツクシ	キイチゴ	ケヤキ	スイセン
13,000	7,000	6,000	6,500

（２）募金活動の推進

①募金の呼びかけ

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

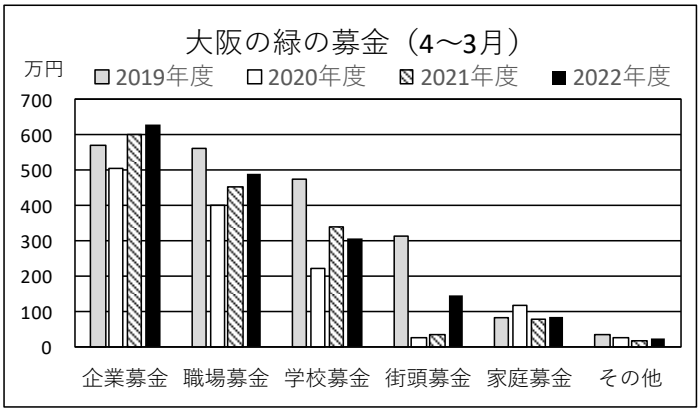
②募金キャンペーンの実施

＜キャンペーン期間＞　・春季　2022 年 3 月 1 日～5 月 31 日

・秋季　2022 年 9 月 1 日～10 月 31 日

① ②の結果は以下の通り

種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
企業募金	5,690,461	5,060,419	6,006,950	6,301,585
職場募金	5,631,482	4,017,907	4,525,406	4,894,790
学校募金	4,735,968	2,199,426	3,372,224	3,055,356
街頭募金	3,119,858	224,014	338,507	1,447,588
家庭募金	798,425	1,159,011	763,336	840,910
その他	340,646	252,809	168,173	220,821
総計	20,316,840	12,913,586	15,174,596	16,761,050



大阪府庁舎本館

大阪府庁舎別館

ATC

③募金拡大

大丸心斎橋店（大阪市中央区）より環境関連取組の一環として 緑の募金チャリティー企画提案があり、9 月 28 日～10 月 18 日に開催された。当協会から緑の募金の説明資料や店頭での対応マニュアル等を提供し、大丸松坂屋ポイントや現金による緑の募金の受付と、秋のピンバッジの配布が行われた。また、2023 年 3 月～4 月に第 2 回目の企画が開催された。

キャッシュレス募金については、（公社）国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともに PayPay 及び auPay を利用した募金の開始に向けた取り組みを行っていたが、金融庁への手続きが進まないことが同機構より報告され、全国的に滞っている。2023 年度の開始は難しい状況である。

募金方法の多様化を進めるため、WEB から募金ができる「つながる募金」※1 や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020 年より開始した遺贈募金（JELF「みどりの遺言」プロジェクト）を継続している。

大丸心斎橋店案内所における募金箱（写真上）と設置状況（写真下）

企業募金の拡大を目的として、過年度から継続的にご協力いただいている企業様のうち 2 社 3 部署へ、今後の展開に向けた意見を伺った。

音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が 2020 年から継続している。2022 年度は 6 月、11 月、3 月に行われ、募金の呼びかけを行った。

※1 つながる募金：ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフトバンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お 宝 エ イ ド：不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。

２－２　緑化推進・森林の整備事業

（１）緑化事業等交付金

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

・304 件　3,059,976 円（2022 年 2 月～2023 年 1 月振込分まで）

緑化事業等交付金による緑化活動の様子

（２）堺第７－３区「共生の森づくり」の推進

市民・NPO 等の参加で例年 3 月に実施されていた「共生の森づくり」イベントは、新型コロナウィルス感染症拡大防止の影響により 2020 年度、2021 年度は中止となった。2022 年度は規模を縮小して開催されたが、企業からの寄付申込みがなく、助成は実施しなかった。

（３）生駒山系花屏風支援事業

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風支援事業」として、5 団体への助成を行った。ハイキングは 3 年ぶりに 10 月に開催され、緑の募金の呼びかけを行った。

活動風景

募金の呼びかけ

（４）平和の緑づくり事業

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園などで身近な緑づくり（植樹と「緑の教室」の開催）を推進した。

・申請 11 件、採択 5 件

植樹

緑の教室

緑の教室

（５）緑の少年団活動支援事業

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟 4 団に助成を行った。

各団団長の参加により 7 月に総会を開催した。例年行っている交流集会及び指導者情報交換会は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の影響により中止となった。

大阪府緑の少年団連盟総会

（６）その他

①中央交付金の交付

（公社）国土緑化推進機構に対して、中央交付金（広域的な森林整備や緑化の推進に活用される）として 2022 年 1 月～12 月の緑の募金の 2%相当額に 250 千円を加えた額を交付した。

②緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため、有識者からなる緑化推進運営協議会を開催した。

・第 60 回緑化推進運営協議会：対面開催 5/27
・第 61 回緑化推進運営協議会：対面開催 2/28

③募金・緑化功労者の表彰

3 年間の募金額をもとに、4 団体を（公社）国土緑化推進機構に推薦し、感謝状を贈呈した。

・林野庁長官賞（3 年間の合計が 200 万円以上）：
　株式会社平和堂、ダイドードリンコ株式会社、大阪府警察有志一同
・国土緑化推進機構理事長賞（同 50 万円以上）：
　大阪商工信用金庫有志一同

「大阪府みどりの功労者」として当協会が推薦した田中正視（たなかまさみ）氏（和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会委員）が表彰された。

④国緑（国土緑化推進機構）対応

近畿圏（奈良県、京都府、三重県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、大阪府）の緑の募金推進団体が年１回開催する「近畿地区緑化推進協議会総会」を運営した。

・開催日：10 月 21 日（金）
・開催場所：ATC ビルグリーンエコプラザ内セミナールーム
・内容：各府県からの報告・質疑応答
（公社）国土緑化推進機構からの連絡・説明事項
見学会（グリーンエコプラザ）および意見交換会

天皇陛下ご下賜金を活用し、三草山ゼフィルスの森（能勢町）において記念植樹を実施した。植栽木の選定にあたっては生物多様性の観点から地元能勢町に生育する苗木を個人から寄贈を受け植栽した。

・実施日：3 月 21 日（火・祝）※三草山ウォーキングイベントと併催
・植樹場所：三草山ゼフィルスの森（能勢町）
・植樹木：エノキ２本（国蝶オオムラサキの幼虫の餌となる樹種）
・参加者：能勢町産業建設部地域振興課課長、大阪みどりのトラスト協会会長
一般参加 30 名

３　森林環境教育・森林ＥＳＤの推進事業（公１・公２共通事業）

（１）教員向け講習の企画・運営

2019 年度より検討・準備を進めてきた教員向け講習の全体カリキュラム、講習内容、教材等を活用し、８月に東部社会科研究会（河南町・太子町・千早赤阪村の公立小学校教員の研究会）のメンバーを対象に「どこでもできる森林 ESD」研修を実施した。また、大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、１回生の学生を対象に森林ＥＳＤ体験講座を実施した。

東部社会科研究会研修の様子

大阪教育大学講座の様子

（２）研究会等への参加、イベントの開催

近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）において、7 月 13 日（水）～8 月 4 日（木）の期間中、令和 4 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大阪での入賞作品の展示とともに、「学校に森林と木の香りを」整備事業等の 2021 年度に行われた事業の紹介を「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援～」と題しパネル展示を行った。

近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」展示の様子

（３）みどりづくりの輪活動支援事業

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等への助成を行った。

予算枠 3 件に対して 9 件の申請があり、助成金配分を検討して、審査の結果 4 件を採択した。専門家相談費用助成については、5 件の申請があり、審査の結果 5 件を採択した。助成した専門家相談のうち 4 件が、当協会の助成事業へ申請し、実施された。

団体名	活動の種類	活動の概要	専門家相談
貝塚市立津田小学校	ビオトープ整備活動	ビオトープの整備	実施
河内長野市立石仏小学校	森林整備活動	学校内里山林の整備、間伐体験	―
大阪府立長野高等学校	森林整備活動	学校内里山林の整備	―
枚方市立樟葉小学校	ビオトープ整備活動	ビオトープの整備	実施

貝塚市立津田小学校

河内長野市立石仏小学校

大阪府立長野高等学校

枚方市立樟葉小学校

（４）「学校に森林と木の香りを」整備事業

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対する助成を行った。

予算枠 3 件に対して 3 件の申請があり、審査の結果 3 件を採択した。

団体名	活動の種類	活動の概要	専門家相談
千早赤坂村立千早小吹台小学校	森林ESDの実施	木材市場などの見学、出前授業	実施
泉南市立鳴滝小学校	森林ESDの実施	出前授業、木工体験	実施
大阪市立聖和小学校	森林ESDの実施	出前授業、木工体験	－

千早赤坂村立千早小吹台小学校

泉南市立鳴滝小学校

大阪市立聖和小学校

４　普及啓発事業（公１・公２共通事業）

（１）会報誌の発行・メールマガジンの発行

会報誌「ANNUALREPORT2021（みどりのトラスト)」を発行した（7 月)。

メールマガジンは、月に 1 回、約 500 の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促した。

（２）ホームページ・ＳＮＳの運営

ホームページは、自然環境保全活動等事業のイベント告知や緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせし、イベント実施状況の報告や緑の募金事業報告等を掲載した。SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信した。

（３）普及啓発イベントへの参加

大阪府立中央図書館共催イベントとして 4/19（火）～5/15（日）の期間中「令和 4 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」入選作品展示 と「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介～」パネル展示で緑の募金の活用方法等を紹介し、募金箱を設置した。

コロナ禍にて 3 年ぶりに開催された「水都おおさか森林（もり）の市（10/23)」(大阪市

北区）や「大阪自然史フェスティバル（11/19・20)」（大阪市東住吉区）にて募金活動・パネル展示等の PR を行った。

大阪府立中央図書館
共催イベント

水都おおさか森林（もり）の市

大阪自然史フェスティバル

（４）ポスターコンクールの実施

（公社）国土緑化推進機構が実施する「令和 5 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、21 校／89 点（参加総数 215 点 ※1 校につき応募は 10 点まで）の応募があった。10/6 の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて下記の 3 名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞 11 名。

【高等学校の部】
特選 文部科学大臣賞
自然を守る
大阪府立堺西高等学校
1 年 玉置 花怜 さん

【小学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
みんなのために
箕面市立西南小学校
4 年 野村 光那 さん

【中学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
大樹と赤ちゃん
大阪市立東中学校
3 年 塩尻 聡子 さん

５　事業その他

（１）トラストファンド実績

和泉葛城山ブナ林のコアゾーン（8ha:国の天然記念物）とバッファーゾーン（47ha:緩衝樹林帯）を一体的に保全するための「ブナの森トラストファンド」及び三草山（能勢町）に生息するミドリシジミ類の保全のための「ゼフィルスの森トラストファンド」の確保に努めた。

①ブナの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	17 件	95,480 円
令和 4 年度末累計	4,083 件	15,104,716 円

②ゼフィルスの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	16 件	96,001 円
令和 4 年度末累計	2,201 件	8,527,371 円

トラストファンド合計	33 件	191,481 円
令和 4 年度末累計	6,284 件	23,632,087 円
（参考） 令和 3 年度末累計	6,251 件	24,130,306 円

（2）大阪みどりのトラスト協会　会員数

新規会員登録者数	個人	5 名	法人	2 団体
令和 4 年度会員数	個人	232 名	法人	31 団体
（参考）令和 3 年度会員数	個人	248 名	法人	32 団体

６　管理部門

１．会議開催状況

2022（令和 4）年度の理事会、評議員会の開催状況は以下のとおり。

（1）理事会

6 月 6 日（月） WEB 会議	第 26 回理事会	第 1 号議案　「2021（令和 3）年度事業報告について」 第 2 号議案　「2021（令和 3）年度決算について」 第 3 号議案　「第 12 回定時評議員会招集について 理事・監事の改選に伴う候補者の推薦 について」
6 月 7 日（火）	決議の省略	第 1 号議案　「評議員候補者 1 名の評議員会への推薦の件」 第 2 号議案　「評議員会の決議の省略による方法により、 評議員 1 名の選任を求める件」
7 月 6 日（水）	決議の省略	第 1 号議案　「理事の改選に伴う代表理事（会長）選定の件」 第 2 号議案　「理事の改選に伴う常務理事選定の件」
12 月 23 日（金） WEB 会議	第 27 回理事会	第 1 号議案　「御堂筋アメニティ事業の（一社）テラプロジェクトへの譲渡について」 第 2 号議案　「特定費用準備資金の変更について」 第 3 号議案　「嘱託職員への臨時賞与の支給について」 第 4 号議案　「中期経営計画（令和 5～7 年度）素案に 関する意見交換」

3 月 2 日（木） WEB 会議	第 28 回理事会	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案	「中期経営計画（令和 5～7 年度）について」 「2023（令和 5）年度事業計画について」 「2023（令和 5）年度収支予算について 資金調達及び設備投資の見込みについて」 「常勤役員の報酬額の決定について」 「嘱託職員への臨時賞与の支給について」

(2) 評議員会

6 月 14 日（火）	決議の省略	第 1 号議案	「評議員 1 名の選任の件」
6 月 22 日（水） WEB 会議	第 12 回評議員会	報告事項 第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案	「2021（令和 3）年度事業報告について」 「2021（令和 3）年度決算について」 「理事の改選について」 「監事の改選について」

２．内部管理体制の整備状況

2022（令和 4）年度において下記の規程を制定しました。

3 月 2 日（木）	賞与支給規則の制定

2022（令和 4）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

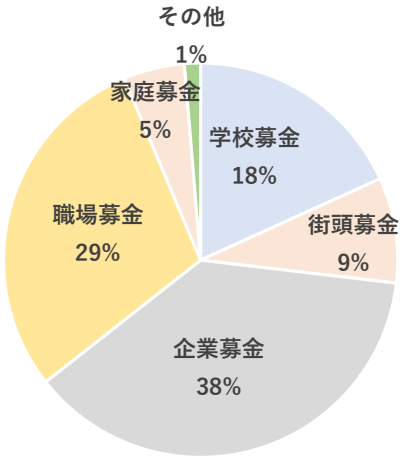
収入について

令和４（2022）年度の収入総額は、予算 17,000 千円に対し、16,809 千円となった。（雑収入 48 千円を含む）

内訳は次の表、グラフのとおりである。

令和４（2022）年度収入の内訳

種類別	金額（千円）
学校募金	3,055
街頭募金	1,448
企業募金	6,302
職場募金	4,895
家庭募金	841
その他	221
雑収入	48
合計※	16,809

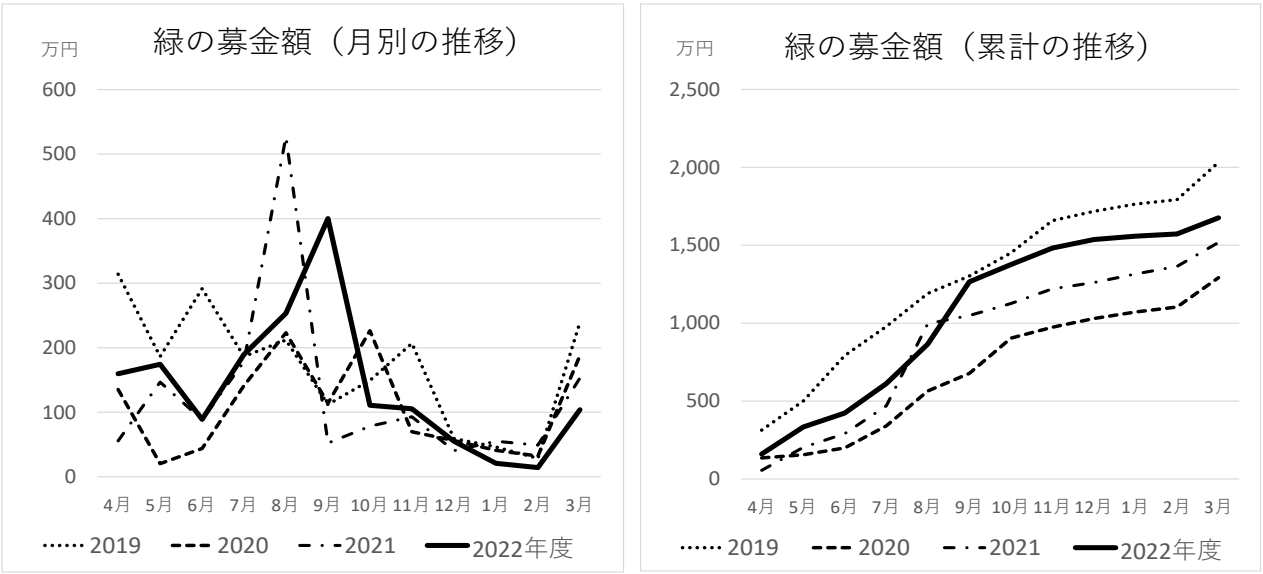


※　円グラフは、割合が 0%の科目は表示していない

1.　緑の募金実績（予算 17,000 千円、決算 16,761 千円）

新型コロナウィルス感染症拡大防止の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金など募金活動の縮小を余儀なくされたが、前年度と比べると 110%と回復傾向を示し、コロナ前の 2019 年度の 82%となった。

種類別の推移をみると、企業募金はコロナ前を上回る増加傾向が見られた。職場募金はコロナ前の 9 割程度に回復し増加傾向が見られる。学校募金は前年をわずかに下回りコロナ前の 7 割程度となった。街頭募金はコロナ前の 5 割程度まで回復し増加傾向が見られた。

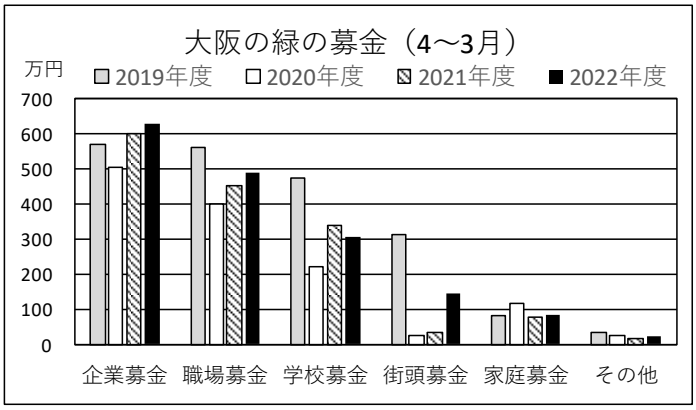


令和４（2022）年度募金額の推移

募金額の種別推移

種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
企業募金	5,690,461	5,060,419	6,006,950	6,301,585
職場募金	5,631,482	4,017,907	4,525,406	4,894,790
学校募金	4,735,968	2,199,426	3,372,224	3,055,356
街頭募金	3,119,858	224,014	338,507	1,447,588
家庭募金	798,425	1,159,011	763,336	840,910
その他	340,646	252,809	168,173	220,821
総計	20,316,840	12,913,586	15,174,596	16,761,050

表中の数字は金額（円）



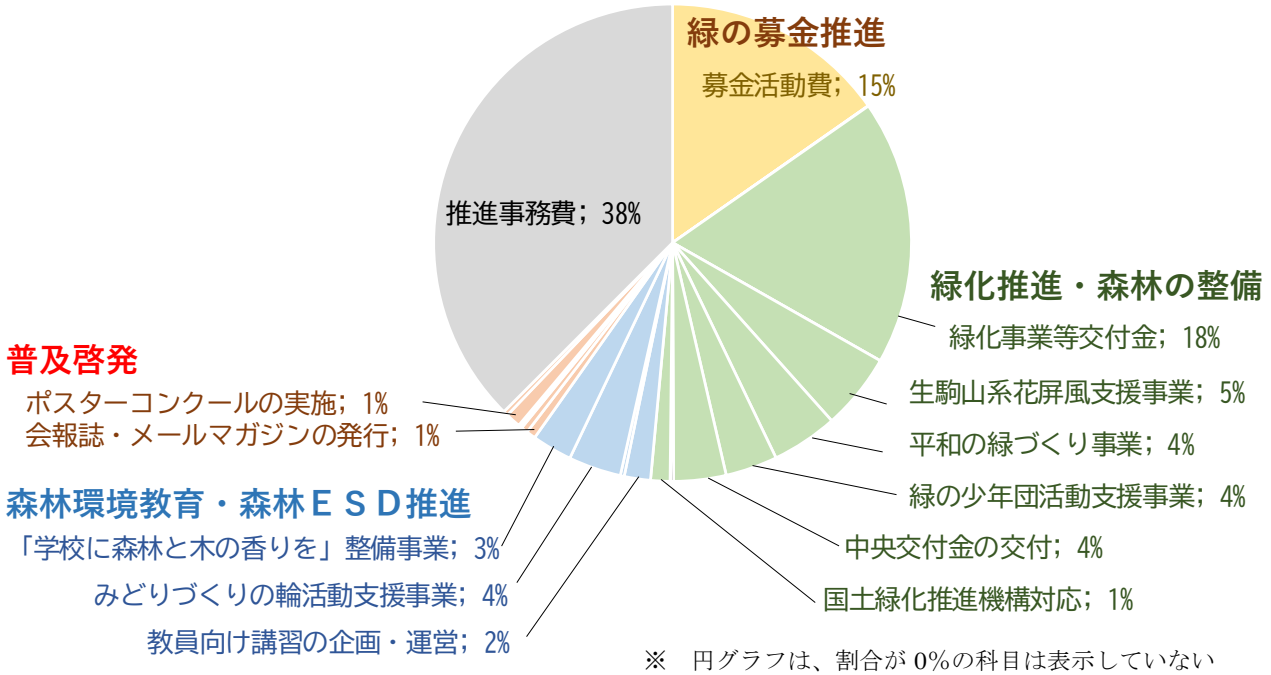
2. 雑収入（予算 0 千円、決算 48 千円）

緑化事業等交付金の返金、令和４年度近畿地区緑化推進協議会総会の会議運営費支給、天皇陛下ご下賜金（記念植樹費用支給）の雑収入があった。

支出について

令和４（2022）年度の事業支出総額は 17,185 千円となった。その内訳は次の表、グラフのとおりである。

科　目		金額（千円）	割合（%）
緑の募金推進事業	募金活動費	2,625	15
	募金拡大	4	0
緑化推進・森林の整備事業	緑化事業等交付金	3,083	18
	堺第７－３区「共生の森づくり」推進費	0	0
	生駒山系花屏風支援事業	888	5
	平和の緑づくり事業	769	4
	緑の少年団活動支援事業	605	4
	中央交付金の交付	608	4
	緑化推進運営協議会の運営	35	0
	募金・緑化功労者の表彰	6	0
	国土緑化推進機構対応	225	1
森林環境教育・森林ＥＳＤ推進事業	教員向け講習の企画・運営	305	2
	研究会等への参加、イベントの開催	46	0
	みどりづくりの輪活動支援事業	613	4
	「学校に森林と木の香りを」整備事業	467	3
普及啓発事業	会報誌の発行・メールマガジンの発行	108	1
	ホームページ・ＳＮＳの運営	77	0
	普及啓発イベントへの参加	45	0
	ポスターコンクールの実施	175	1
	その他	56	0
推進事務費	推進事務費	6,444	38
合計		17,185	100



※　円グラフは、割合が 0%の科目は表示していない